

令和5年度「ちば！教職たまごプロジェクト」申込書

小学校	小学校(養護)	中学校	特別支援学校
-----	---------	-----	--------

希望教科 ※2		小学校での研修 ※3		可・否	
氏名	ふりがな	性別※4	生 年 月 日		写 真 ※5
			昭・平 年 月 日 令和5年4月1日現在 歳		(写真貼付欄) 1 写真の裏面に氏名を記入 2 申込6か月以内に撮影したもの 3 上半身、脱帽、正面向き (カラー、白黒どちらでも可) 4 縦4.5cm×横3.5cm
電話等	自宅	現住所	〒		
	携帯				
メール ※6					
緊急連絡先 ※7			大学名等	大学・大学院 学部・専攻 年 (令和5年4月1日現在)	
	電話 ()			学籍番号 ()	
大学担当者 職・氏名 (指導教官・教職たまごプロジェクト担当者等)			電話 ()		
活動希望地区等 ※8	学校名(希望市町村名のみも可)		※3で小学校での研修を「可」とする者のみ記入欄 小学校名(市町村名のみでも可)		出身校
	①	立 学校	立	小学校	小学校
	②	立 学校	立	小学校	中学校
	③	立 学校	立	小学校	高等学校
上記①～③の活動希望地区等以外で研修可能な教育事務所等※9				()	
活動可能な曜日・時間 ※10	曜日	時 分 ~ 時 分	教育実習(予定校と期間)※11		
	曜日	時 分 ~ 時 分			
	曜日	時 分 ~ 時 分	麻しんの抗体 ※12 有 ・ 無		
交通手段	公共交通機関 () 自転車 その他 ()		過去の教職たまごプロジェクト経験 (有の場合)学校名・年度		有 ・ 無
研修での配慮希望の有無 ※13	(有 ・ 無)		配慮の内容等		
自 己 紹 介 欄					
専攻			得意な教科・分野		
教育職員免許状(種類・取得(見込)年月)					
指導可能な部活動・クラブ活動、競技歴等					
教職たまごプロジェクトを希望した理由・抱負					
事務所等記入欄					

私は、実施要項の内容に同意の上、これを遵守し、上記のとおり「ちば！教職たまごプロジェクト」に申し込みます。

令和 年 月 日 (自署) 氏 名

※A4両面 1枚に収まるように印刷をして提出をしてください。

(様式1)(裏面)

「ちば！教職たまごプロジェクト」の活動に係る保険加入状況申出書

「ちば！教職たまごプロジェクト」参加に当たっての傷害保険及び賠償責任保険の適用について、当てはまる番号の□にレ印をしてください。なお、①、②のいずれか、③、④のいずれかに必ずレ印をしてください。

傷害保険		賠償責任保険	
<input type="checkbox"/> ①	私は、大学等で加入する保険を適用する見込みです。(注1)	<input type="checkbox"/> ③	私は、大学等で加入する保険を適用する見込みです。(注1)
<input type="checkbox"/> ②	私は、本人または家族が加入する保険を適用する見込みです。(注2)	<input type="checkbox"/> ④	私は、本人または家族が加入する保険を適用する見込みです。(注2)

注1 ①、③については、大学等の担当にご自身の保険加入状況と、大学等の保険が「ちば！教職たまごプロジェクト」の活動に適用されるかを確認の上、レ印をしてください。(大学等が保険を「ちば！教職たまごプロジェクト」の活動に適用するか検討中の場合も含む)

「ちば！教職たまごプロジェクト」の内容については、実施要項または下の概要を参照してください。

注2 ②、④については、ご家族等と相談し、補償内容や補償期間等を確認した上で、レ印をするとともに、保険加入がわかる書類の写し等を余白右上に大学名、氏名を記入の上、申込書に添付して申込先に提出してください。なお、申込書に添付できない場合は、準備でき次第、申込先に提出してください。(郵送する場合は、封筒左側に朱書きで「教職たまごプロジェクトに係る保険関係書類在中」と記載してください。)

注3 保険加入の確認ができなかった場合は、5月からの研修ができません。その場合は、改めて担当から連絡します。

「ちば！教職たまごプロジェクト」の概要

1 目的

公立学校教員を志望する大学生、短期大学生及び大学院生を対象に、地区ごとの研修会や、県下の小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校(県立及び市立)での実践研修等を体験する機会を提供することにより、教職への理解を深め、教員としての資質・能力を高めるとともに、採用後の教職員研修との円滑な接続の実現を目的とする。

2 研修内容

(1) 学校における実践研修 ※原則、1日単位の実践研修を、年間通して20回以上

県下の小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校において、学級運営の補助等を体験することにより、教職への理解を深め、資質・能力を高めることを目的とした実践研修

(2) 「教職たまごプロジェクト」についての研修(第1回地区別研修会)※2月頃

研修を始めるにあたり、1年間の研修の進め方や留意すべきこと等について理解することを目的とした、地区ごとに実施する事前研修

(3) 各教育事務所等における研修(第2回地区別研修会)※10月頃

講師を招いた講演や、研修生同士の情報交換等により、教職への理解を深めることを目的とした、地区ごとに実施する研修

3 研修対象者

大学3・4年生(ただし、理系の学部、学科の学生は、2年生も可)、大学院生及び短期大学2年生を対象とし、就職先として公立学校教員を志望し、各校教諭普通免許状を所有又は取得見込みの者

申込書記入例

小学校	小学校(養護)	<input checked="" type="radio"/> 中学校	特別支援学校
-----	---------	--------------------------------------	--------

希望教科 ※2	英語		小学校での研修 ※3	<input checked="" type="radio"/> 可・否
氏名	ふりがな	ちば たろう	性別※4	生年月日
	千葉 太郎		男	昭(平) 13年7月7日 令和5年4月1日現在 21歳
電話等	自宅	011-222-3333	現住所	千葉県〇〇市〇〇町1-1-1
	携帯	090-0000-0000		
	メール ※6	〇〇〇@x x x		
緊急連絡先 ※7	東京都〇〇区〇〇 2-2-3 千葉 一郎(父)		大学名等	千葉総合 総合
大学担当者 職・氏名 (指導教官・教職たまごプロジェクト担当者等)		総合 太郎		電話 (11-1111-1111)
活動希望地区等 ※8	学校名(希望市町村名のみも可)		※3で小学校での研修を「可」とする者のみ記入欄 小学校名(市町村名のみでも可)	
	①	市川市立△△中学校	市川市立〇〇〇小学校	出身校
	②	市川市立□□中学校	市川市立◇◇◇小学校	
	③	市川市立〇〇中学校	市川市立△△△小学校	
上記①～③の活動希望地区等以外で研修可能な教育事務所等※9			〇〇教育事務所(〇〇市)	
活動可能な曜日・時間 ※10	月曜日	8時00分～16時00分	教育実習(予定校と期間)※11	
	金曜日	8時00分～16時00分	市川市立□□中学校(令和5年6月)	
	曜日	時 分～時 分	麻しんの抗体 ※12 <input checked="" type="radio"/> 有・無	
交通手段	<input checked="" type="radio"/> 公共交通機関(電車とバス) 自転車 その他()		過去の教職たまごプロジェクト経験 <input checked="" type="radio"/> 有・無 (有の場合)学校名・年度 市川市立△△中学校(令和4年度)	
研修での配慮希望の有無 ※13	(<input checked="" type="radio"/> 有・無)		配慮の内容等	難聴のため、地区別研修の際は手話通訳を希望します。
自 己 紹 介 欄				
専攻	コミュニケーション学		得意な教科・分野	英語
教育職員免許状(種類・取得(見込)年月)				
中学校1種英語 令和6年3月取得見込				
指導可能な部活動・クラブ活動、競技歴等				
野球と陸上 野球を9年間 中学校時代に千葉県選抜選手に選ばれたことがある。				
教職たまごプロジェクトを希望した理由・抱負				
私が今回たまごプロジェクトに申し込んだのは、〇〇〇〇〇……				
事務所等記入欄				

私は、実施要項の内容に同意の上、これを遵守し、上記のとおり「ちば！教職たまごプロジェクト」に申し込みます。

令和 4 年 11 月 〇〇 日

(自署) 氏名

千葉 太郎

申込書の記入について

※1について

- ・小学校・小学校（養護）・中学校・特別支援学校のいずれかを○で囲む。

※2について

- ・中学校を希望する場合のみ記入する。
- ・複数の教科が可能な場合は、すべて記入する。

※3について

- ・中学校、または特別支援学校の希望者のみ記入する。

※4について

- ・記載については任意とする。

※5について

- ・上半身、脱帽、6か月以内に撮影した写真を必ず貼る。
- ・白黒、カラーのどちらでもよい。

※6について

- ・ブロック体ではっきりと書く。場合によっては下部にルビをふる。

0 (ゼロ)、6 (ロク)、O (大オー)、o (小オー)

1 (イチ)、I (大アイ)、l (小エル)

2 (ニ)、Z (大ゼット)、z (小ゼット) 等

例) s o s e l @ p r e f . j p

小オー エル

※7について

- ・本人以外の連絡先を記入する。緊急連絡先住所が現住所と同じ場合は、「同上」と記入する。
- ・記入例のように（ ）に続柄を記入する。

※8について

- ・①～③まですべて記入する。
- ・学校名がわからない場合は、希望する市町村名だけでもよい。
- ・①～③すべて同じ教育事務所等管内の学校でもよい。□
例) ①市川市立○○小学校 ①市川市
②市川市立◇◇小学校 または、②市川市
③市川市立△△小学校 ③市川市
- ・①、②とは異なる教育事務所等管内での研修が可能な場合は、③に他の教育事務所等管内の学校名、または市町村名を記入する。
例) ①市川市立○○小学校 ①市川市 ①松戸市
②市川市立◇◇小学校 または、②市川市 や ②松戸市
③成田市立□□小学校 ③成田市 ③東金市

注1：教育事務所管内の市町村については、実施要項参照すること。

注2：研修受入校数などの状況により、希望どおりの研修校にならない場合もある。

- ・未定の場合は、記入しなくてもよい。

※9について

- ・※8で①～③をすべて同一の教育事務所等管内学校に希望したとき、それ以外で研修可能な教育事務所等があれば記入する。（ ）内には市区町村を記入
例1) 千葉市（稲毛区） 例2) 北総教育事務所（印西市）
- ・未定の場合は、記入しなくてもよい。

※10について

- ・未定の場合は、記入しなくてもよい。

※11について

- ・すでに決まっている場合や実施予定の場合は、必ず記入する。

※12について

- ・必ず過去の記録を確認して、記入する。

※13について

- ・配慮希望のある場合は有に○を記入し、内容を右の欄に書ける範囲で記入する。